

# 図書館だより



今月の絵柄：「どろろんびょういん たいへん たいへん」

かとうまふみ (金の星社)

発行 滝上町図書館  
電話 0158-29-3735



\*参加申込み  
4月21日(金)  
図書館まで  
お知らせください。  
(画材の準備のため)

日時 4月22日(土) 午前10時  
場所 文化センター 視聴覚室

ツプを行います。汚れても良い服装で参加してください。思いっきり大きな絵をみんなで作りましょう。  
幼児・小学生が中心の事業ですが、もちろんどなたでも参加できます。

## H29年度子ども読書の日記念事業 かとうまふみワークショップ



4月23日は子ども読書の日。この日を記念して図書館では毎年、子ども向けの読書推進事業を行っています。今年も札幌市在住の絵本作家、「えんぴつのおすもう」や「どろろんびょういんシリーズ」「しゃもじいさん」でおなじみのかとうまふみさんをお招きして大きな木に春の世界を描くワークショップを行います。

## 図書館にいらっしゃい!



図書館は誰でも気軽に利用できる公共施設です。フリーでWiFiを使用することもできます。また、転出等で町民ではないけれどご家族が滝上在住の方にも本をお貸しすることができます。

☆開館日 火曜日～日曜日  
☆休館日 月曜日、祝日、年末年始  
☆開館時間 午前10時～午後6時

Q. 図書館ってどこにあるの？

A. 栄町の文化センター内にあります。

Q. 本を借りるには？

A. 登録用紙に必要事項を記入し、登録してください。2週間で読めるだけ何冊でもお貸しします。(雑誌の新聞だけ貸出期間は3日間になります。)

Q. 読みたい本が入っていないのですが・・・

A. リクエストを随時受付けています。また、絶版の場合などは図書館のネットワークを駆使してよその図書館から借りることもできます。

図書館の  
ホームページ  
ご利用ください

<http://lib.town.takino.ue.hokkaido.jp>



## 新刊案内

(小説)

- ☆声なき蟬 ①② 佐伯泰英
- ☆竜は動かず ①② 上田秀人
- ☆札沼線の愛と死 西村京太郎
- ☆不発弾 相場英雄
- ☆回帰 警視庁強行班係 今野敏
- ☆しんせかい 山下澄人
- ☆獄の棘 大門剛明
- ☆柳生三代の鬼謀 鳥羽亮
- ☆騎士団長殺し 第1部・第2部 村上春樹
- ☆かりんとう侍 中島要
- ☆悪夢に架ける橋 赤川次郎
- ☆あきない世傳 ②③ 高田郁
- ☆手毬花おゆう
- ☆花びら葵 和田はつ子
- (エッセイ)
- ☆それでもこの世は悪くなかった 佐藤愛子
- ☆100万回言っても言い足りないけど 竹田裕子

(その他)

- ☆不機嫌な長男・長女 不機嫌な末っ子 五百田達成
- ☆あなたの運命が本当に変わる心理学 棚田克彦
- ☆サピエンス全史 ①② ハラリ
- ☆日本人として知っておきたい「世界激変」の行方 中西輝政
- ☆痛くない死に方
- ☆薬のやめどき 長尾和宏
- ☆疲れをとりたきゃ腎臓をもみなさい 寺林陽介
- ☆100歳の精神科医が見つけた 高橋幸枝
- こころの匙加減
- ☆医者への罪と罰 石井光
- ☆エスモニアガーデンのパウンドケーキ エスモニアガーデン
- ☆北海道日本ハムファイターズ流一流の組織であり続ける3つの原則 白井一幸
- ☆筋膜リリースパーフェクトガイド 竹井仁

## 読んでみませんか



『マリー・アントワネットの嘘』

惣領冬実ほか著 (講談社)

ベルサイユ宮殿がフランスの若者にもっと知ってもらおうツールとして日本のマンガに着目し、ベルサイユ宮殿の学芸員全面バックアップの下、膨大な資料と精密な画力で描かれたのが惣領冬実・作の「マリー・アントワネット」。歴史に対する研究が進み、これまでのマリー・アントワネットの印象とはまったく違う姿が浮き彫りになりました。例えばルイ16世は太つちよでおたくっぽいイメージでしたが、実は192cmもあつたそう。結婚した15歳のときで178cmもあつたそう。なんだかいろいろ話が違うようです。



## 『ハリネズミの願い』

トーン・テレヘン著 (新潮社)

ある日、新聞で書評バトル・ビブリオバトルの優勝者がこのオランダの詩人が書いた本を紹介したと書いてありました。図書館に入っているけど、一人ぐらいいしか借りられないな…と思いました。でも、この本を好きになつてくれそう。な利用者の方の顔は思い浮かんだので紹介してみると、読んでくださって面白かつたと言ってくれました。ああ、図書館員でよかったなあ、と思いました。

他の動物とうまく付き合えない臆病で気難しいハリネズミが誰かを家に招待しようとして手紙を送ろうとするが、もし〇〇が訪ねて来たら？と想像すると不安で手紙を出す勇気が出ない。ところが最後に…という話です。

